

道徳便り

鹿島小学校
道徳便り No.3
令和5年12月22日

11月と12月に「生命の尊さ」を主題として、研究授業が行われました。その様子をお知らせします。

第5回研究授業 3年2組 11月27日

○主題名 元気のもと

○教材名 「いただきます」

○授業の概略

毎日の食事のあいさつ「いただきます」について考え話し合うことを通して、単なるあいさつや、食事を用意してくれた人へのお礼、自分の食事に関わっている人々への感謝だけではなく、自分の生命へつながる他の生命との関わりを理解することで、その言葉の意味に気付かせ、生命を大切に生きていこうとする心情を育てる授業です。

○授業を振り返って

子どもたちは、「いただきます」をどんな気持ちで言っているかについて考えました。自分の考えをワークシートに書き、友達と交流することを通して、食事を作ってくれた人へ「ありがとう」、野菜などを食べられるまでに育ててくれた人に「ありがとう」、食事に関わっている人達全員に「ありがとう」という感謝の気持ちだけでなく、動物の命をいただいていることに気付くことができました。

また、自分の「元気のもと」の一つが食事であり、他の生き物の生命をいただいて、自分の生命につながっていることが分かりました。

これから、自分の食事に関わる人々や多くの生き物に感謝して「いただきます」を言っていこうとする気持ちを高めることができました。そして、生命を大切にしていこうとする心情を育んだようです。

○学習の振り返り（児童のワークシートより）

☆これから、どんな気持ちを込めて「いただきます」を言っていきたいですか。

- ・ 作ってくれた人への感謝と、動物にありがとうの気持ちを込めて言う。
- ・ 多くの生き物に感謝を伝える気持ちを持って「いただきます」を言う。
- ・ 食べるまでに関わっている人に「ありがとう」と、生きていたいろいろな生き物に「ありがとう」と言う気持ち。



第6回研究授業 1年2組 12月15日

○主題名 たすけずには いられないところ

○教材名「わきだした みず」

○授業の概略

本教材は、池の水が干上がって魚たちが苦しんでいる様子を見たカニが、みんなを助けたいという強い心で隣の村の泉まで穴を掘り続け、水を池まで流し、魚たちを助けたという内容です。カニの心情と行動について話し合うことを通して、他者の生命を必死で助けようとする生き方によさを感じ、自分も他者の生命を大切にしようとする心情を育てる授業です。

○授業を振り返って

場面絵やペープサート、デジタル教科書を見せながら教師が教材を読み進め、子どもたちは、それに合わせてカニが穴を掘る動作をまねすることで、カニの気持ちを考えることができました。また、ワークシートには、ハートマークに色をぬってカニの気持ちを表したり、生命を大切にすることについて考えたことを言葉や文で書いたりすることで、生命が大切だということを自分のこととしてとらえることができました。

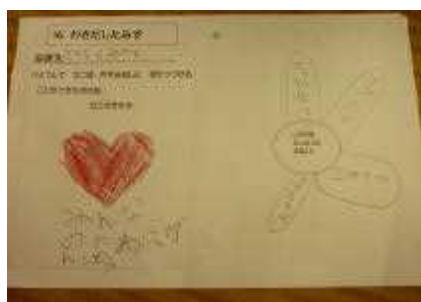
授業の最後には、ゲストティーチャーとして、高野校長が東日本大震災時の実話を話しました。浪江町立請戸小学校の子どもたちが避難するところに通りかかったトラック運転手さんが、子どもたちを荷台に乗せて高台まで連れて行ってしてくれたことなどを話しました。

教材文や校長の説話を通して、自他の生命を大切にしようとする心情を育んだようです。

○学習の振り返り（児童のワークシートより）

☆命を大切にすることってどういうことかな。

- ・ 自分と友達を守る。
- ・ みんなも自分も守る。
- ・ ルールを守る。
- ・ こわくなったらすぐ逃げる。



○研究授業を通して

今年度は、「生命尊重」と、「伝統・文化」を主題とする研究授業を行ってきました。学習を重ねることで、子どもたちの道徳的心情が育ってきました。これからも、子どもたちが主体的に考え、話し合える授業を目指して、子どもたちがよりよく生きるための道徳性を養えるように研究を進めていきます。